



# e news SEaweeds No. 19

## 日本海藻協会ニュース

2009年10月15日

### ・協会事務局から

#### 1. 総会と秋季藻類シンポジウムの報告

2009年度総会が10月9日(金)に学士会館(東京・神田)で開催され、2009年度事業経過報告、2009年度会計中間報告、2010-2011年度役員選出が行われました。役員は全員が留任することに決まりました。

総会に引き続いて2009年秋季藻類シンポジウム「伝統的なアジアの藻類文化」が行われました。参加者約64名でした。

#### 2. 「海藻資源」の原稿募集

会誌「海藻資源」No.22(2010年6月発行予定)の原稿を募集しています。投稿締切りは2010年2月25日です。原稿は[arugay@mx4.ttcn.ne.jp](mailto:arugay@mx4.ttcn.ne.jp)宛にお送りください。

### ・海藻関連ニュース

#### 1. 食品開発展 2009

CMPジャパン(株)主催の「食品開発展 2009」が10月14~15日に東京ビッグサイト東4・5・6ホール(東京 有明)で開催されます。詳細は食品開発展事務局(TEL 03-5296-1017, FAX 03-5296-1018)に問い合わせるかHP([www.hijapan.info](http://www.hijapan.info) / [www.stecjapan.info](http://www.stecjapan.info))をご覧ください。

#### 2. マリンバイオテクノロジー学会懇談会

マリンバイオテクノロジー学会の平成21年度懇談会が11月16日(金)14:30~16:50に航空会館B101会議室(東京 新橋)で開催されます。鈴木英之氏(東京大学)「海洋資源・エネルギー開発を支える工学の現状と未来」および笠原正典氏(北海道大学)「Variable Lymphocyte Receptor をめぐる最近の話題」の講演があります。講演終了後17:00から懇親会が予定されています。詳細はマリンバイオテクノロジー学会事務局(担当:佐藤)(Tel.

03-3434-1083、Fax. 03-3434-2789、E-mail: [m.sato@src-i.co.jp](mailto:m.sato@src-i.co.jp)) にお問合わせください。

### 3. 国際藻類研究シンポジウム

インドのBanaras Hindu UniversityのCentre for Advanced Study in Botany主催の国際藻類研究シンポジウム (International Symposium on Phycological Research, ISPR-2010) が 2010 年 2 月 25 - 27 日にインドのVaranasiで開催されます。世界の大学、研究所、企業などから先導的研究者の参加が期待されており、シアノバクテリア (藍藻) を含む藻類研究の全般にわたるシンポジウムです。藻類の多様性・種分化・進化、共生、ストレス下の藻類、藻類分子生物学・ゲノミクス・プロテオミクス・メタボロミクス、藻類バイオテクノロジー、藻類と医薬・機能性食品・毒物質・生体分子・薬物/抗生物質、藻類と生物的環境浄化、藻類と環境/生態学などのテーマが挙げられています。参加登録料は 2009 年 12 月 31 日までがUS\$200 (同伴者US\$100) それ以後はUS\$250 (同伴者US\$150) 当日登録はUS\$300 (同伴者US\$200) です。参加登録、要旨提出、宿泊申込みの期限はいずれも 2009 年 12 月 31 日です。詳細は[www.ispr2010.org.in](http://www.ispr2010.org.in)をご覧ください。

### 4. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合 (European Union of Phycological Societies) 主催の第5回ヨーロッパ藻類学会議 (The 5th European Phycological Congress, EPC5) が "Exploring the Phycocosmos: A European Perspective" をテーマに 2011 年 9 月 4 - 9 日にギリシャのロードス島 (Rhodos Palace Hotel) で開催されます。詳細はウェブサイト[www.epcv.gr](http://www.epcv.gr) をご覧ください。

### 5. 第20回国際海藻シンポジウム (XX ISS)

国際海藻協会 (International Seaweed Association, ISA) 主催の第20回国際海藻シンポジウム (The XX International Seaweed Symposium, XX-ISS) が 2010 年 2 月 21 - 26 日にメキシコのエンセナダ (Ensenada, Baja California) で開催されます。会場は大学 (UABC) 近接の海に面した Hotel Coral & Marina (ダウンタウンまでタクシーで約 10 分) です。登録期限と参加費は、早期登録 (正参加者 US\$435、学生 US\$275、同伴者 US\$250) が 2009 年 10 月 30 日まで、それ以後 2010 年 1 月 22 日までは正参加者 US\$530、学生 US\$375、同伴者 US\$300、1 月 22 日以後は正参加者 US\$600、学生 US\$450、同伴者 US\$350 です。参加費は登録期限までに送金してください (銀行送金のみ可)。参加費には、歓迎レセプション、Mid-Symposium Tour、バンケット

ト、コーヒブレークなどの経費が含まれています。Proceedings は別途 US\$75 が必要となります。Mid-Symposium Tours として (1) Gray Whale Watching, (2) The Blowhole, (3) The Wine Route, (4) Seaweed Collection and Abalone Farm Visit などが予定されています。ホテルは、ISS 参加者のための特別料金 (1 泊 US\$55 ~ 173) が設定されていますが、参加者各自がホテルに直接申込み必要があります。

研究発表のabstract送付の期限は 2009 年 10 月 16 日です。

詳細は <http://www.xxseaweedsymposium.org> でSecond Circularをご覧ください。

## ．カレンダー

2009.10.14-16. 食品開発展 2009 (東京 有明)

2009.11.6. 平成 21 年度マリンバイオテクノロジー学会懇談会 (東京、新橋)

2009.12.1-4. 第 7 回アジア太平洋藻類バイオテクノロジー会議 (インド、ニューデリー) ( No.18)

2010.2.21-26. 第 20 回国際海藻シンポジウム (メキシコ、エンセナダ)

2010.2.25-27. 国際藻類研究シンポジウム (インド、ヴァラーナシ)

2011.9.4-9. 第 5 回ヨーロッパ藻類学会議 (ギリシャ、ロードス島)

## ．会員会社の新製品等の紹介

### 1. 新刊図書案内

T. Platt・S. Sathyendranath (著) 中田喜三郎 (訳) 光と海洋の一次生産.  
生物研究社 (2009). A5 判・定価 6,510 円.

## ．海藻 Q & A

Q21 有毒な海藻はありますか？

A - 海藻の中には有毒物質を持つものは基本的にはありません。ただし、例外として、1980 年代後半に注目されるようになった緑藻イワズタ属 (*Caulerpa*) の一種イチイズタ (*C. taxifolia*) で毒性を持つようになった変異型の「キラー海藻 (killer algae)」と呼ばれているものがあります (Q8 参照)。このようなものを除けば、おいしいかどうかは別にして、一般的には海藻はすべて食べられます。しかし、褐藻のウルシグサ (*Desmarestia ligulata*) の仲間のように硫酸塩などを多量に含むために渋味が非常に強い (酸性度が非常に高い) ものは食用には向きません。また、有毒物質を含む魚卵が海藻に産みつけられることがありますから、そのような海藻は注意が必要です。普通の海藻を食べて食中毒を起こした事件は知られていません。ただし、海

藻に付着して生活している小動物（ワレカラ類など）を含む海藻に対するアレルギーのある人は、海藻食には注意する必要があります。

### これまでのQ & A

- Q1 - 「海藻」と「海草」は同じですか。（No.2 に掲載）
- Q2 - ノリの「色落ち」って何ですか。（No.2 に掲載）
- Q3 - 海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q4 - コンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か（No.3 に掲載）
- Q5 - 海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？（No.3 に掲載）
- Q6 - テングサという種名の海藻はないのですか？（No.4 に掲載）
- Q7 - 「うみぶどう」は海藻の名前ですか？（No.5 に掲載）
- Q8 - 「キラー海藻」って何？（No.6 に掲載）
- Q9 - 日本の海苔は輸出されていますか？（No.6 に掲載）
- Q10 - 「髪菜（はっさい）」は海藻ですか？（No.7 に掲載）
- Q11 - 中国で栽培（養殖）されているノリは日本のノリと同じですか？（No.8 に掲載）
- Q12 - 「岩のり」と「青のり」は違うものですか？（No.9 に掲載）
- Q13 - 「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？（No.10 に掲載）
- Q14 - 「鰯浦こんぶ」はコンブですか？（No.11 に掲載）
- Q15 - 日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？（No.12 に掲載）
- Q16 - 「磯焼け」って何？（No.13 に掲載）
- Q17 - 「寒天」と「ところてん（心太）」はどう違うのですか？（No.14 に掲載）
- Q18 - 「はんば」って何？（No.15 に掲載）
- Q19 - 「みずこんぶ」（水こんぶ）とは？（No.17 に掲載）
- Q20 - わかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか？（No.18 に掲載）

この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月1回（毎月15日付で）発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

## 日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝（[arugay@mx4.ttcn.ne.jp](mailto:arugay@mx4.ttcn.ne.jp)）